

Rina Iwai

イワイ リナ

vision track



イワイ リナ

Rina Iwai

デザイン事務所に勤務後、ニューヨークに移住しフリーのイラストレーターとしてデビュー。現在は拠点を日本に移しNEWYORKERやNOJESSのシーズンビジュアルを手がけるなどファッション、アパレル、女性誌、キャンペーン広告など幅広く活躍している。割り箸を用いて大胆で緩急のついたクールな線で描くのが特徴。ファッショナブルで遊び心のあるキャッチーな表現が得意でインスタグラムなどを通して海外でも人気を得ている。

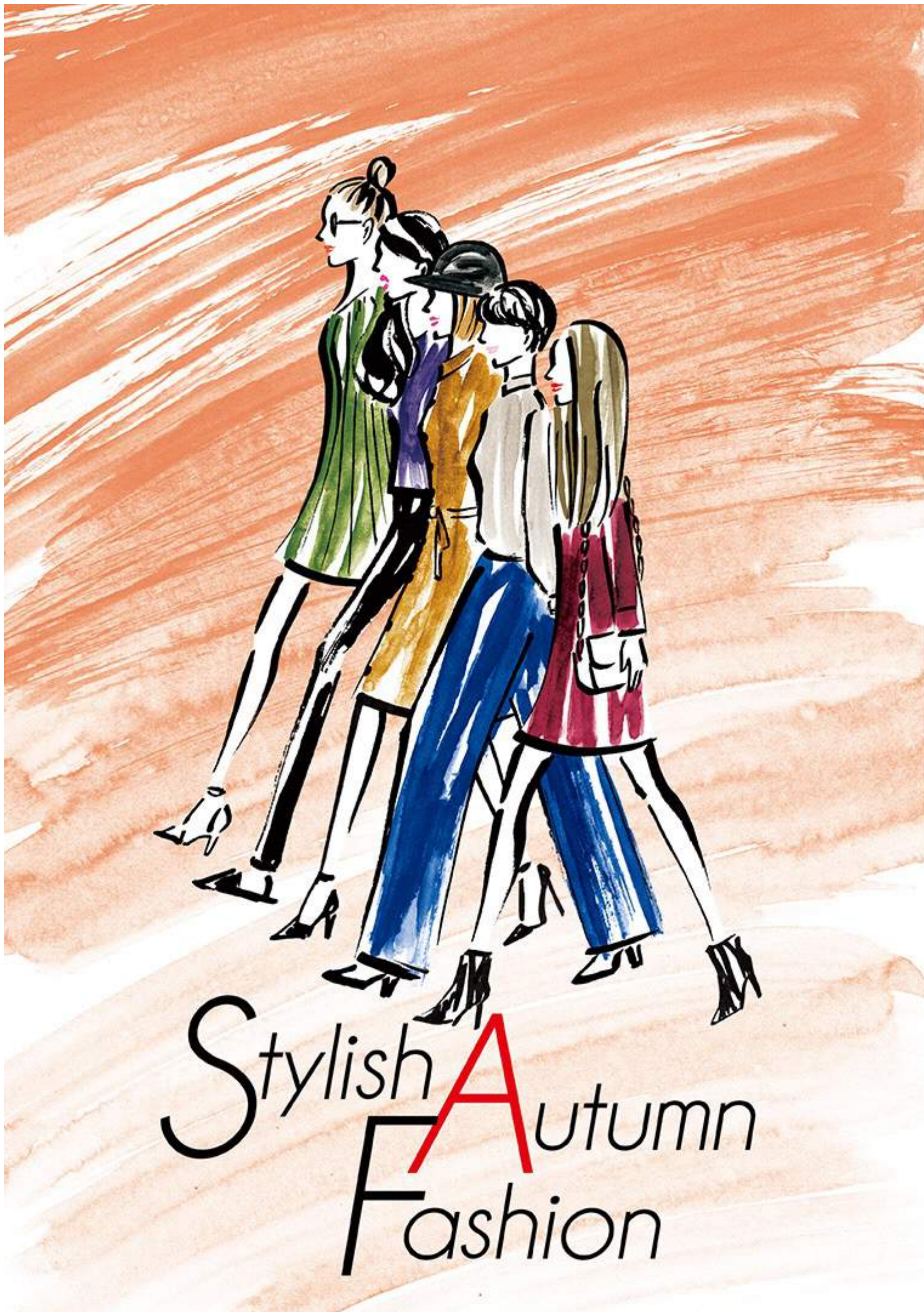
Web site

http://www.visiontrack.jp/rina_iwai/

instagram

https://www.instagram.com/rina_iwai/

Commission Works







ATELIER *Spick & Span*



FRAMeWORK

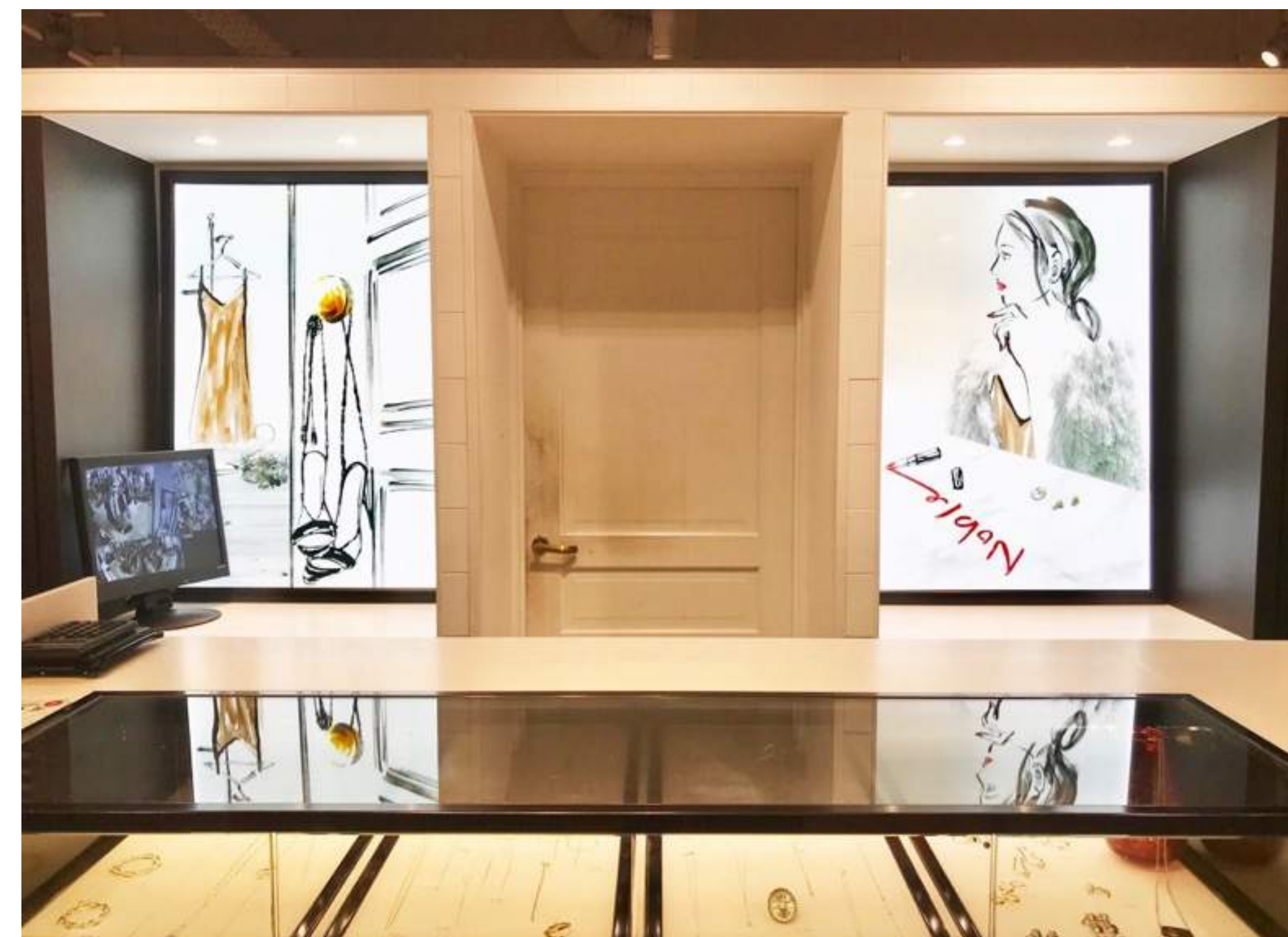
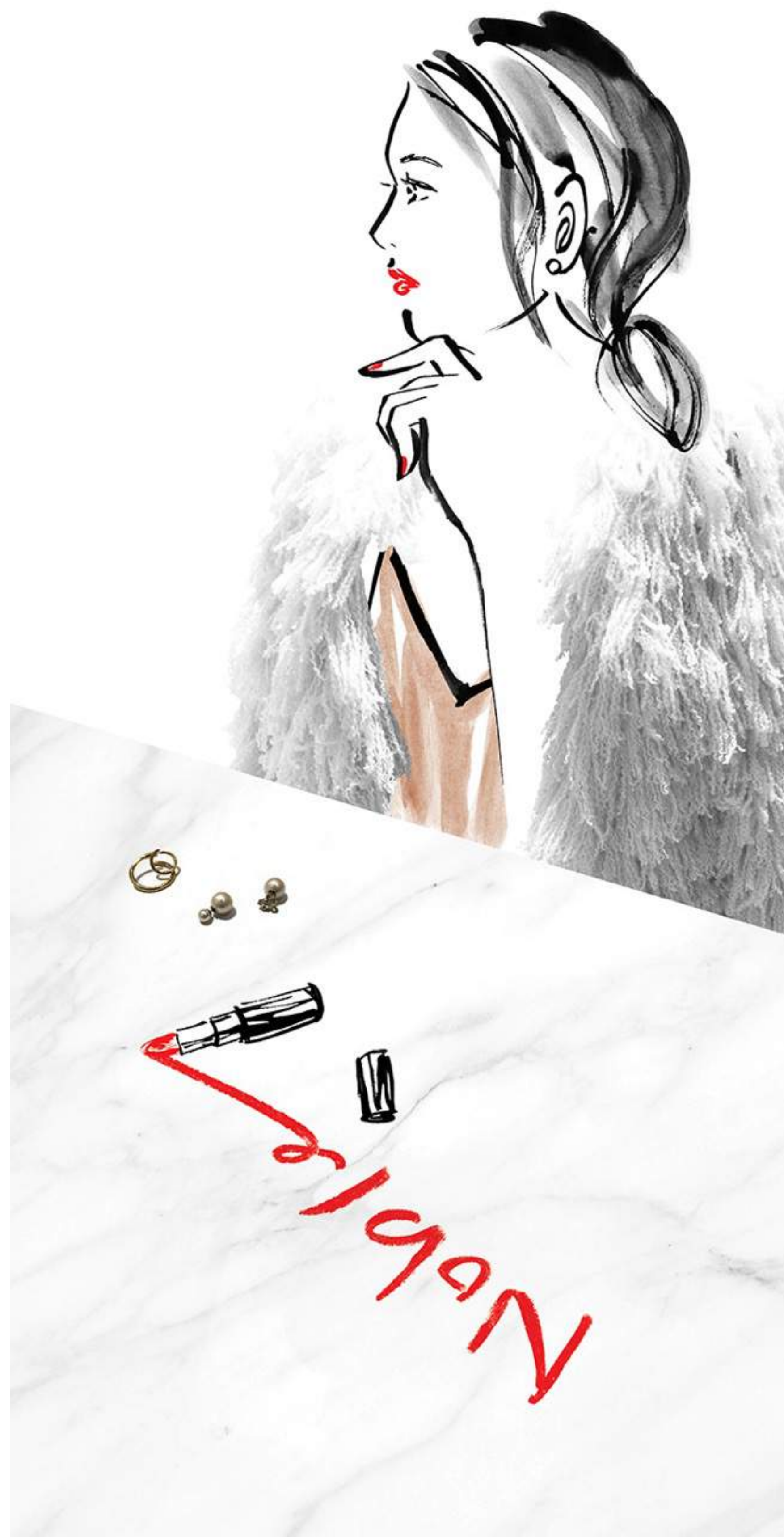


Spick & Span



N O B L E





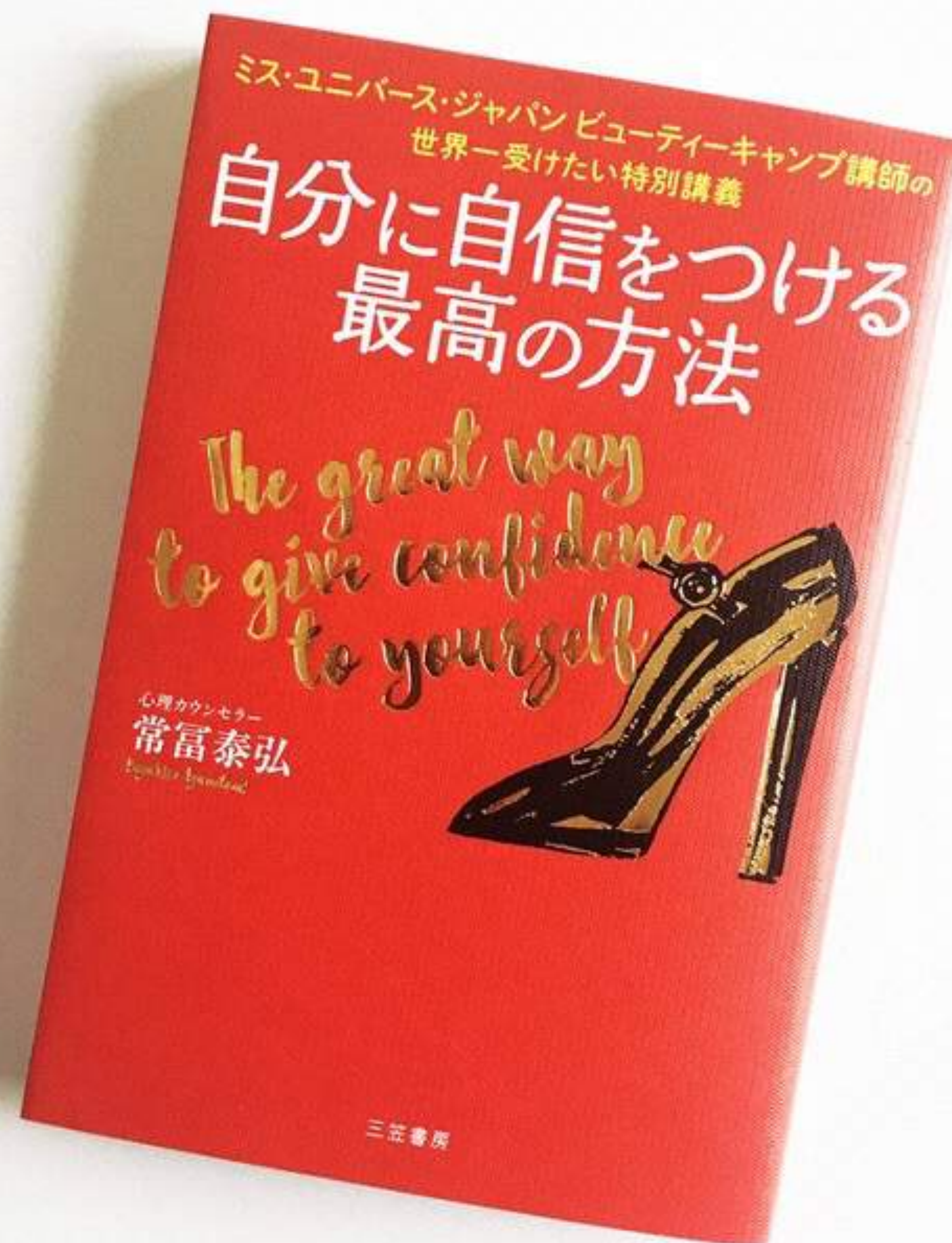


あなたのLikeは？

Vitz? or AQUA?

安心と一緒に、お出かけしよう。







エストロゲン

Estrogen

甘糟りり子

Ririko Amakasu



小学館文庫



楽しみたいこと、知りたいこと。
わたしのいまに、この街は応えてくれる。
イセタンでめぐる、あたらしいトーキョーへ。

2月3日〔水〕～16日〔火〕 伊勢丹新宿店本館・メンズ館=各階







TOKYO NOW



ホットな東京のファッション&カルチャー

「東京ならではのパワフルなカルチャーに世界中のクリエイターが注目しています。東京発信のモードを提案する私もまた、それに刺激を受け、元気をもらっています」

Text:Tatsuya Miura Illustration:Rina Iwai Photos:Yuji Namba, Koji Yamada

「GIZA」デザイナー マドモアゼル・ユリア (左)

「GARTER」で扱うアクセサリーブランド「GIZA」デザイナーであり、DJとしても活躍中のマドモアゼル・ユリア。「半年ほど前からアトリエの一角を借り、ハンドメイドの1点ものアクセサリー制作しています。この店は「GIZA」の世界観を見せるのに最適な空間。コウシロウとは、基本的な感覚が合うんです。最近ではライブの衣装制作もお願いしています。アイデアを投げると、いつもそれを上回るものが出来上がるのは凄いです」 ※1stシングル「GIMME GIMME」配信リリース中。10/5にはシングルとしての1stアルバム「MADEMOWORLD」発売予定。

ファッションエディター ティファニー・ゴドイ (右)

ファッションエディターのティファニー・ゴドイも、「GARTER」に惚れ込んだプロフェッショナルの一人。「1年半ほど前にこのギャラリーで友人「iii」のレイチェルの作品展を見てからハマりました。東京が持つ持っている元気、ユースカルチャーのエネルギーが、まだここには生きている。最近アトリエの片隅にオフィススペースを借りました。エディターとしての知識と経験を生かして何か一緒にできれば」



東京都杉並区高円寺北3-4-13
キタコレビル104
☎03-6356-9296
◎15:00～22:00 不定休

「GARTER」オーナー コウシロウ (中)

ショップスペースにギャラリー、緑のあるクリエイターが集うアトリエ兼オフィスを持つ「GARTER」。レディースを中心に古着、メイク、セレクト、オリジナルを展開する。オーナーのコウシロウさんはなんと21歳。「18歳でファッションスクールに入学するために上京。勉強のために立ち寄った図書館でヴィオネの存在を知り衝撃を受け、知識を深めることに、彼女の哲学に強く惹かれるようになりました。発明家気質で新しいことに取り組む姿勢は今も僕のデザインに大きく影響しています。学校は学費を払うのがキツくなったことと、実践のほうがより多くのことを学べると思ったのが理由で自主退学。自分で洋服を作っていたのでその作業場が欲しくて、どうせやるなら店も持ちたいと思っていたとき、「はやとちり」の後藤さんから声をかけてもらい出店しました。今までは感覚的にデザインをしていたけれど、これからはテーマを設けてさらに本格的に取り組みたいです」

上: ラッピングシューズ ¥15,800 左: ストーンネックレス ¥55,000 / GIZA (ともにGARTER) 下: カスタマイズヘルメット ¥25,200 下駄Xスニーカー ¥32,800 / ともにiii

KOENJI 新世代ファッションの発信基地「キタコレ」の仲間たち

高円寺北口、北中通り商店街を進むと、突然現れる奇妙な建物。それが、今ファッションに敏感な若者の間で話題になっている「キタコレビル」だ。ネーミングは、北口のキタとハリコレクションなどのコレをつけてきたもの。名前のイメージとはほど遠い? この建物に最初のショップ「素人の乱はやとちり」がオープンしたのは2008年7月のこと。その後、オーナーの後藤慶光さんが友人に出店をもちかけ、現在では「NINCOMPOOP

CAPACITY」「GARTER」「シークレットDOG」「iii」などが軒を並べている。それぞれに個性豊かなショップにはユルユル心地よい空気が流れる。感受性豊かな若者から世界的に活躍するクリエイターまで、キタコレビルに集う人々はオーナーと共にコミュニティを形成。そこから新しいアイデアやプロジェクトが生まれ、そのエネルギーはひとつのムーブメントとなって、新世代のクリエイション、新しい価値観を創造しようとしている。



「素人の乱はやとちり」オーナー 後藤慶光

メンズの古着リメイク&オリジナルアイテムを販売する、キタコレビル第1号店。「以前働いていた古着屋のオーナーから面白い物件があるからここを紹介されたのがきっかけです。ずっと高円寺のショップで働いてきたから街に愛着もあったし、何より商店街の雰囲気が好きで。自分でモノ作りもしていたので、作ったものをすぐに販売できる地点が欲しかったこともあり、思い切って出店を決めました」

東京都杉並区高円寺北3-4-13 キタコレビル
☎090-7818-3729
◎15:00～23:00 (土日祝13:00～) 不定休



BANZAI PROJECTディレクター YORUKO BANZA

洋服デザインやDJ、衣服ありきのパフォーマンスなど「BANZAI PROJECT」と呼ばれるプロジェクトを展開するマルチクリエイター。彼のブランド「BANZAI」のアイテムを「iii」で取り扱っている。「僕も拠点が高円寺。ここはモノを作る人間にとってインスピレーションが無尽蔵に広がる街。何でもやりたいようにやればいいと肯定してくれるから、自分の原点に戻ることができる。特にキタコレビルは、同じ志を持つ人間が集まるパワースポットです」

「iii」オーナー レイチェル・ハリス

ルールにとらわれないセレクトショップ「iii」。「1年半前に「GARTER」のギャラリーでの作品展示をして以来、キタコレビルにハマりました。お風呂のスペースが空いていたから、ここで私も店をやると即決。キタコレの人たちはみんな本当にクリエイティブ。私より若い子が多いけど、フィーリングが合うから年齢は全く気になりません。学生時代にモスクワから電車を乗り継いで中国から船で大阪に来たのが日本初体験。その後、英会話教師の仕事を見つけて大阪に1年ほど住み、さらに世界を広げるために上京。下北沢に住んで7年になるけれど、高円寺は昔の下北沢を思い出させてくれます。おばあちゃんのお店と若い子の店が隣り合ってる感じが大好き」

東京都杉並区高円寺北3-4-13 キタコレビル GARTER 2F
☎03-6356-9296 (GARTERと同じ)
◎15:00～22:00 無休



Koenzine

アーティスト花代presents 高円寺やばカワイ女子軍団

15年ぶりに帰国したアーティスト花代が、自身が生まれ育ったオルタナな街、高円寺の新たな風をキャッチした、フォトエッセイブック「Koenzine」をリリース。ボロボロつぎはぎのキタコレビル、ミンキーモモやサンリオのポップな空間...で活動する、DJ、ショップスタッフ、パフォーマーなど新世代高円寺ガールズが大集合。



NINCOMPOOP CAPACITY
メンズ&レディースの古着リメイクとオリジナルアイテムを展開するショップ。
2010年には原宿に2店舗目をオープン。
東京都杉並区高円寺北3-4-11
キタコレビル2F
☎03-3337-9401
◎13:00～23:00 無休

シークレットDog

原宿のショップ「Dog」の2号店として2009年9月にオープンし、今年5月には増床リニューアル。

東京都杉並区高円寺北3-4-13
キタコレビル
◎13:00-21:00 無休



HARAJUKU Ⅰ

レディ・ガガもお気に入りの
アンダーワールド「Dog」



レディ・ガガが訪れることでも有名な個性派ショップには、リーズナブルな可愛い古着から、スタッズなど手の込んだ高価のリメイクもの、いつ誰が着るのかと目を疑うようなド派手なオリジナルまで幅広く揃う。古着マニアも一目置くショップにはデザイナーやスタイリスト、アーティストなどクリエイターも通い詰める。「ガガは去年と今年、2回来て、値段は言えませんが、かなり買ってくれました(笑)」と、原宿おしやсна常連のプレス・コンボイさん。ガガのオファーにより、現在オーナーは彼女のための衣装を制作中だという。

東京都渋谷区神宮前 3-23-3 トリニティビルB1F
☎03-3746-8110 ◎12:00～20:00 無休

右:「Dog」ブレスのコンボイさん 上: ガガ来訪の際、壁に残したサイン。右上: リメイクスタッズGジャン ¥98,000 / Dog



ワークショップのための
スペースがオープン!

SHIBAURA HOUSE

リアルな体験ができる“ワークショップ”に人が集まる昨今、ついにワークショップに特化したスペースが誕生。設計は建築家・妹島和世が手がけ、ガラス、直線と曲線でシンプルに美しく仕上げられている。ここでは、アートやデザイン、ライフスタイル、ビジネスまで、さまざまなものづくりやディスカッションを体験することができ、大人も子どもも楽しめる。9月にはトラブ建築設計事務所がデザインした「空気の器」の展示と関連イベントを開催。

東京都港区芝浦3-15-4
☎03-5419-6446
◎ 9:00～21:00 (土～17:00) ◎ 日・祝
www.shibaurahouse.jp



TOKYO NOW

TOKYO NOW

TOKYO NOW

Photo : Forward Stroke Inc.



古今東西のファッション雑誌が並ぶ 古書店マグニフ

新旧問わず、国内外のファッション誌を中心に、サブカル誌、写真集、アートブックなど“ファッションの好きな人が興味のあるジャンル”をセレクトしている古書店。表紙がまだイラストだった30年代の海外誌やケイト・モスが初めて表紙を飾ったTHE FACE、先日急逝した林文浩編集長が手がけたDUNEまで、マニアにはたまらない品揃え。アパレル業界や出版業界の関係者が資料を求めにやってくることも多いとか。

東京都千代田区神田神保町1-17 ☎03-5280-5911
◎ 11:00～19:00 不定休 www.magnif.jp



良質の美術書が揃う洗練されたセレクト 東塔堂

美術、写真、デザイン、建築…それぞれのジャンルが持つ文脈において最も重要な時代、つまり20世紀後半のヴィジュアルブックを中心に取り扱う。セレクトのポイントは“本の佇まい”。内容はもちろんのこと、装丁、質感、サイズ感など、バランスの良さが決め手となっている。そのような視点で選ぶと、自ずと60年代の本が多くなるのだとか。ギャラリースペースも併設しており、内装はスタンダードトレードが手がけた。

東京都渋谷区鶯谷町5-7 第2ヴィラ青山1F
☎03-3770-7387 ◎ 12:00～20:00
◎ 日 http://totodo.jp/



コーヒーやお酒を飲みながらの読書タイム ブックス&カフェ プーザンゴ

フランスを主とした海外文学、人文書、美術書などを揃えたブックカフェ。コーヒーのほか、お酒が楽しめるのも嬉しい。オーナーが古書店をオープンするにあたり、古本に馴染みがない人にも気軽に来てもらえるようにとカフェを併設。もちろん本だけ買いたい人でも、お茶だけに来てもOK。とはいえ、どれも手に取ってみたいくなる良本ばかり。不忍通り沿いという、静かな時間の流れる読書には最適な場所とぜひ至福の時間を。

東京都文京区千駄木2-33-2 ☎03-3823-5501
◎ 夕方～23:00 ◎ 火 www.bousingot.com

105 Numéro TOKYO

HARAJUKU 2

ファッションの聖地で勝負する
個性派ショップ『ミキリハッシン』



「S.NAKABA」デザイナー 中場信次

ジュエリーブランド「S.NAKABA」のデザイナー、中場信次さんはアルミ缶やペットボトルを彫刻のような美しいジュエリーに昇華する。「昔は貴金属も使っていましたが、90年代頃からアルミやペットボトルの素材の面白さに惹かれるようになりました。仕器も、米軍ヘリの水平尾翼を再利用して自分で作りました。「ミキリハッシン」の魅力は、その可能性が未知数なところ。山口くんが新しいクリエイティビティ、次の時代の完成度を求めているからでしょうね」



東京都渋谷区神宮前5-24-2 2F ☎03-3486-7673
◎ 12:00～21:00 無休

「ミキリハッシン」ディレクター
ヤマグチソウタ

古着、日本のデザイナーズブランドからのセレクト、取り扱いデザイナーとのコラボレーションによる古着ベースのリプロダクトアイテムから構成するショップ。ディレクターのヤマグチソウタさんは、スタイリストであり、「ネオ・コス展」をはじめとする企画展のオーガナイザーも務める。「すでに存在しているものに新しい命を吹き込むという意味では、発表の場や形が異なるだけでどの仕事も根本は同じ。スタイリストは万人に向けて発信するのに対し、ショップではお客さんと1対1で、何でもじっくり伝えているところが魅力です。「ネオ・コス展」は、お客さんとのコミュニケーションの中でマンガ、アニメというキーワードが頻出するところから思いついた企画ですが、こんなに大きなムーヴメントになるとは予想していませんでした。原宿はよくも悪くも“自由”で多様性がある街。やっぱりファッションの聖地だと思います。ファッションで勝負したく、移転リニューアルに際して原宿を選びました」。8月から「オンラインショップ」が新たに始動。http://mikirihassin-tokio.com

TOKYO NOW

TOKYO NOW

TOKYO NOW

人と本の素敵な偶然の出会いを演出 book pick orchestra

ブックピックオーケストラの活動は、本との出会い方を通して、本の面白さを伝えること。「言葉だけ切り離すのではなく、物語に合ったデザインや装丁で読むと、またひと味違う魅力を発見できます。本といっても、新刊から古書までものすごい数があり、その中で何を選ぶかというところに、ひとつのきっかけを授けたい。本を購入して読む側の楽しみには、そういう一冊に出会うまでのストーリーがあると感じます。例えば、誰かが勧めてくれたとか、あそこで読んだとか、独自の何かがあったほうがより記憶に残ると思うんです」。彼らがセレクトする「SUNDAY ISSUE」のブックコーナーにはカードが置かれ、それを通じて「秒時計が落ちたときに見つけた本が今日の一冊です」「今日履いている靴と同じ色の本を選んでください」と問いかけている。こうして普段の自分の基準ではなく、偶然の基準で選ぶ機会を提案することによって、新しい可能性を広げてくれる。つまり本を読むまでのプロセスや体験ごと販売する。コンシェルジュというよりは、本に詳しい友達のような感覚で紹介し、読み手と一緒に本の楽しさを共有していく、それがブックピックオーケストラのスタイルだ。

www.bookpickorchestra.com ◎ SUNDAY ISSUE ☎03-3797-1288

左から

『毒物』フランソワーズ・サガン ¥3,500

モルヒネ中毒の療養中という特殊な状況の中での日々が赤裸々に綴られている。それに友人であるビュッフェがイラストレーションをつけた作品。

『炎のなかの絵』ジョン・コリア ¥1,400

ミステリー、サスペンス、SFとも言えない異色作家の短篇集ですが、それぞれにうなるようなオチがついている。「極端な不眠症のあなたに 夜、眠る前に読みなさい! さしたる努力もなく 夢の世界にみちびかれます!」という帯の文句も秀逸。

『美の冒険』¥1,500

知的好奇心をくすぐる「美」に関する著名な論文を集めている。一冊でいろんなものに触れるという意味ではお得です。

『チューサン階級ノトモ』嵐山光三郎 ¥1,800

雑誌「宝島」で連載されていたエッセイをまとめたものですが、70年代当時の気分をそのまま閉じ込めた一冊。

『チエーホフ全集』¥2,000

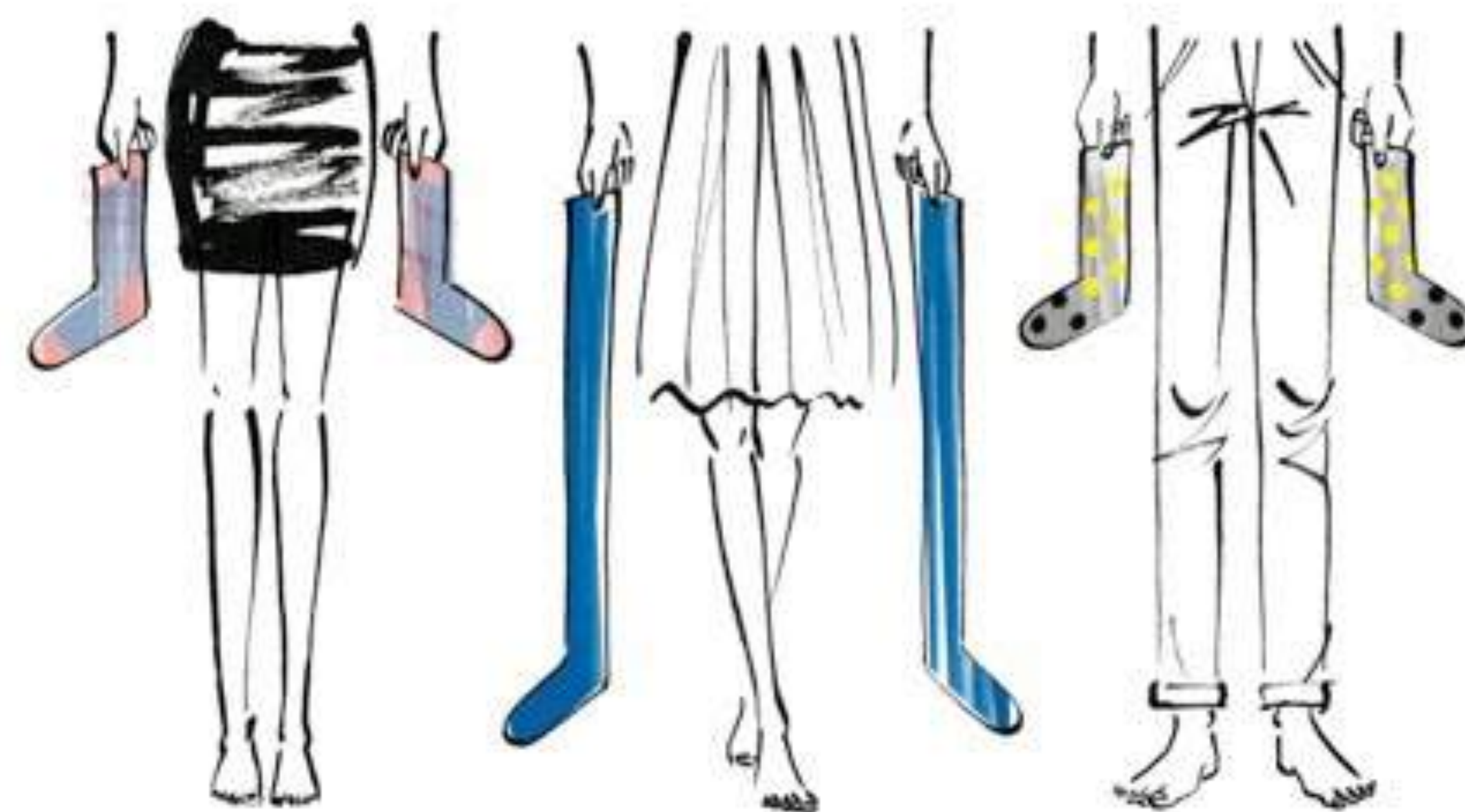
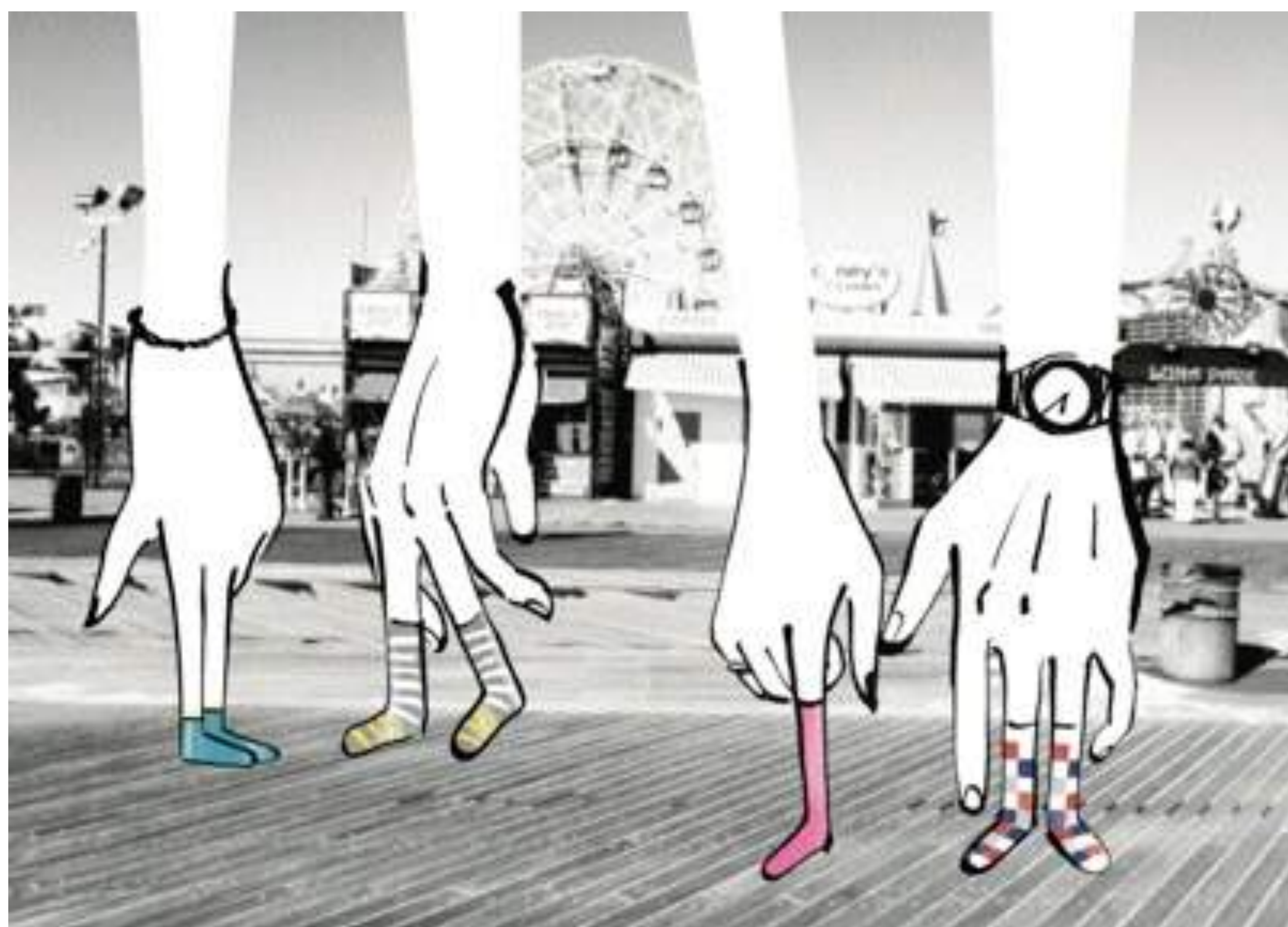
同じチエーホフでも文庫本でなく、中林洋子さんによる豪華な装丁で読むとひと味違う。

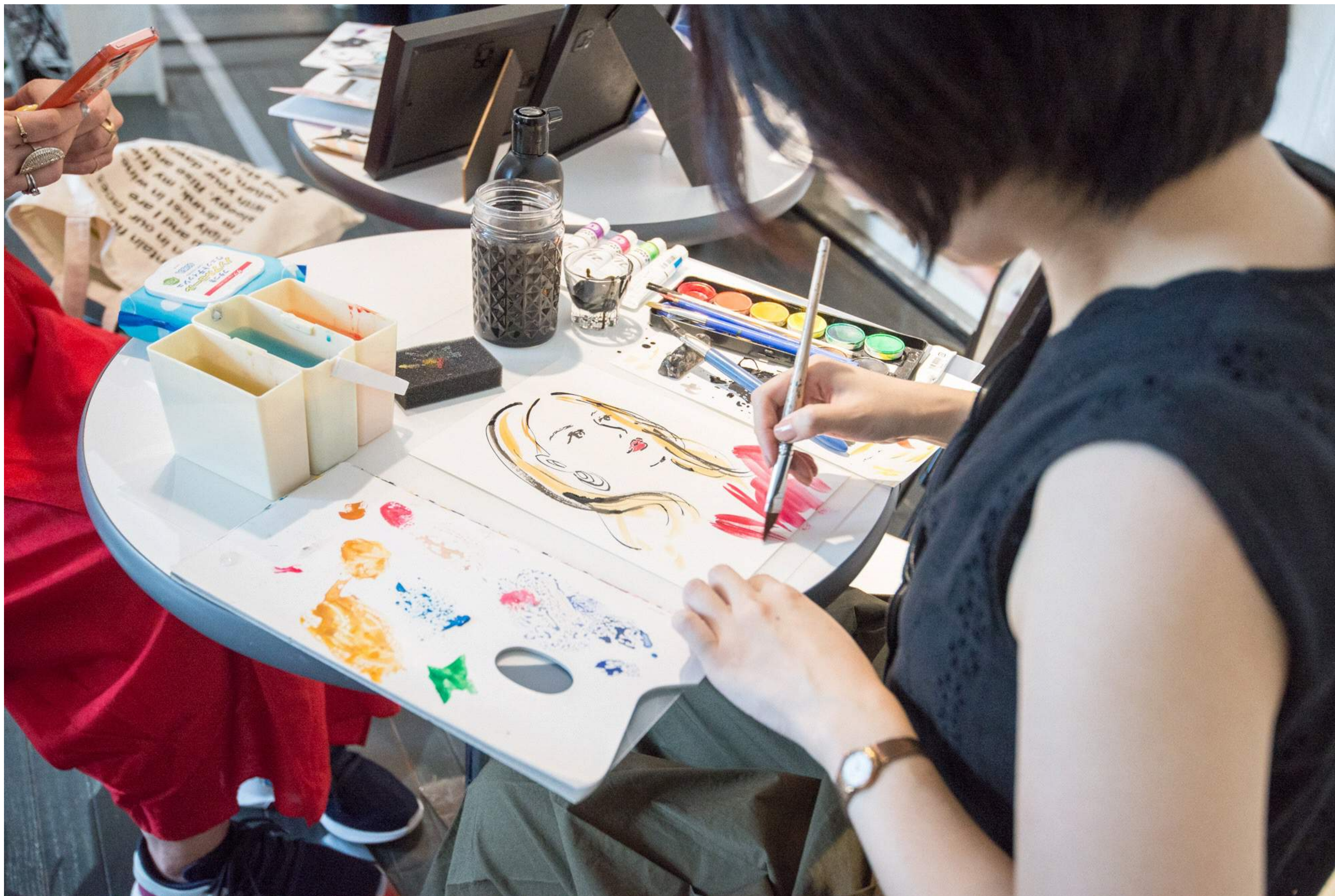


BOOKS

巷では古書がブーム!
便利なネット書店や電子書籍が当たり前になった昨今、印刷された紙の風合いや手触り、本ならではの温かみを求めて古書店を訪れる本好き人口が増えている。それに伴い、良質な古書店や古書を読めたり買えたりするカフェ&バーも続々登場。そこには独自の審美眼を持つオーナーたちがセレクトした本が並び、オーナーたちの本への愛が詰まった古書店を巡り、新たな魅力を再発見。

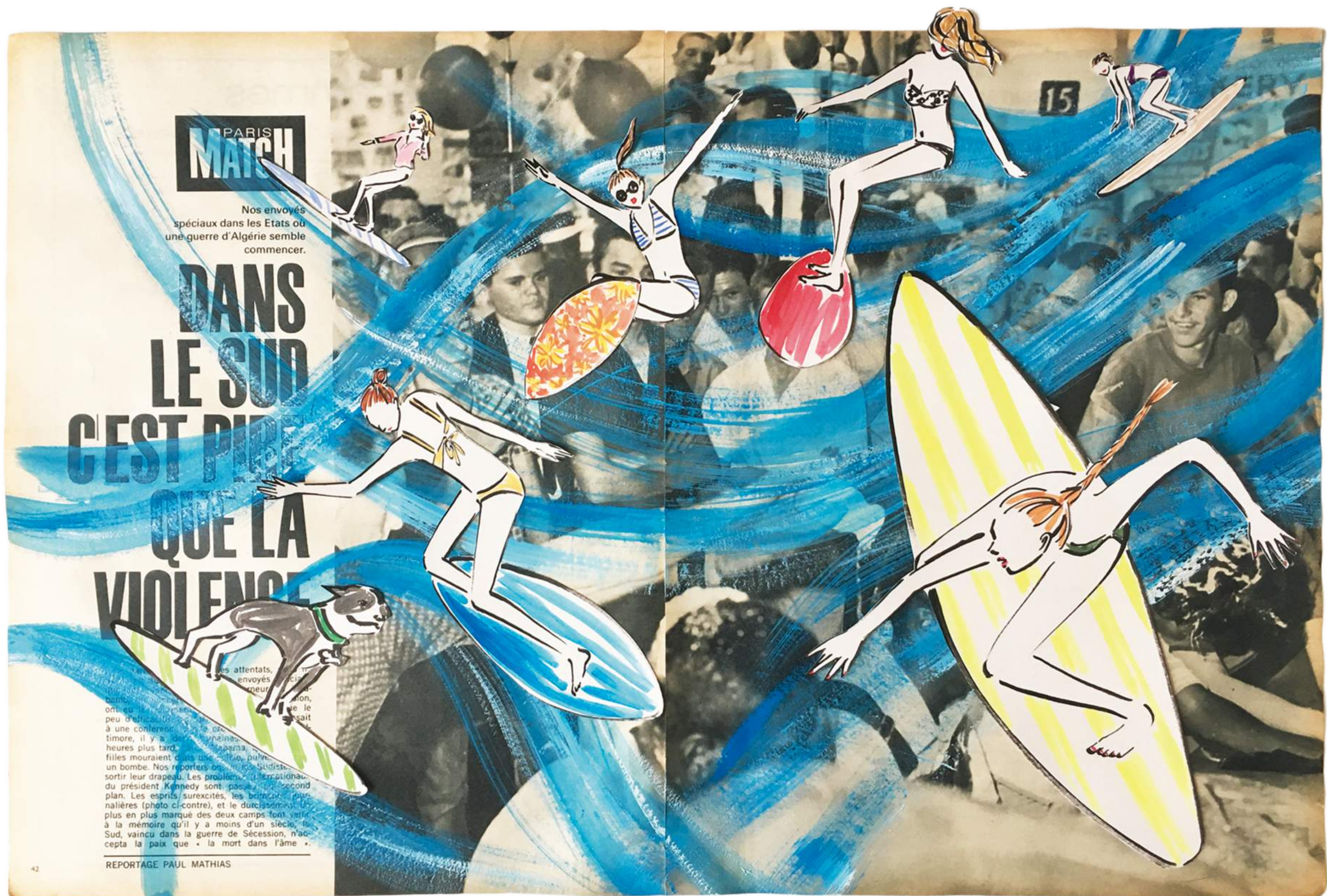
Numéro TOKYO 104







Personal Works



PARIS
MATCH

Nos envoyés
spéciaux dans les Etats où
une guerre d'Algérie semble
commencer.

DANS LE SUD C'EST PIUS QUE LA VIOLENCE

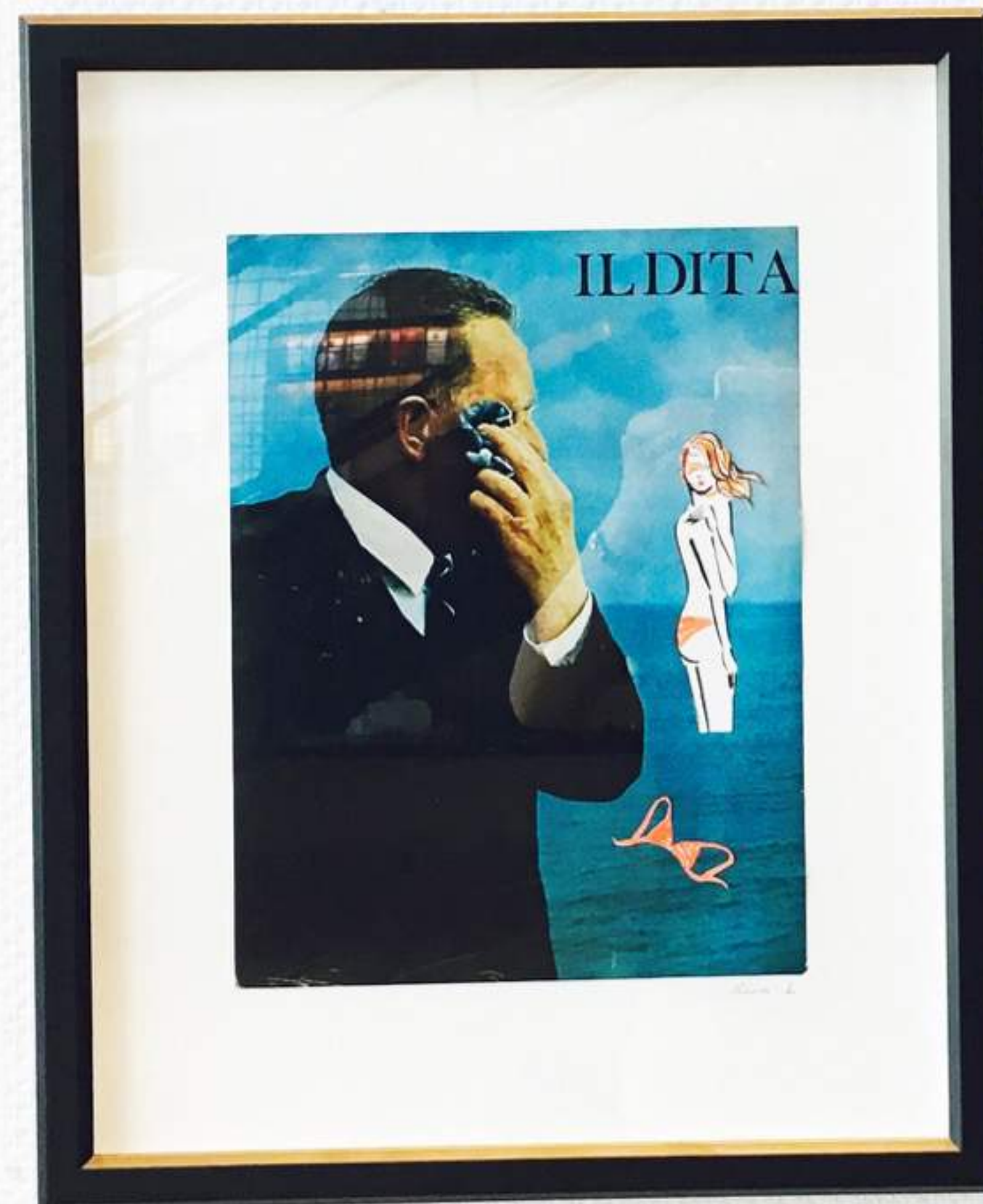
Les attentats, les
envoyés spéciaux
ont eu le temps de
peu d'efficacité.
à une conférence
timore, il y a de
heures plus tard,
filles mouraient d'une
un bombe. Nos reporters
sortir leur drapeau. Les problèmes
du président Kennedy sont passés
plan. Les esprits surexcités, les
natières (photo ci-contre), et le durcissement
le plus en plus marqué des deux camps font venir
à la mémoire qu'il y a moins d'un siècle, le
Sud, vaincu dans la guerre de Sécession, n'ac-
cepta la paix que « la mort dans l'âme ».

REPORTAGE PAUL MATHIAS



RUBIN
\$75,000 (including tax)

FREE RIDE RINA IWAI



PLANE
\$75,000 (including tax)



MEOWS MEOW
\$75,000 (including tax)





LA DANSEUSE
1964, 1965



LA DANSEUSE
1964, 1965

LA DANSEUSE
1964, 1965



LA DANSEUSE
1964, 1965

LA DANSEUSE
1964, 1965



LA DANSEUSE
1964, 1965



LA DANSEUSE
1964, 1965

LA DANSEUSE
1964, 1965



LA DANSEUSE
1964, 1965

LA DANSEUSE
1964, 1965





日光浴日和

A

mazing day for sunbath



青いスカート

B

lue skirt

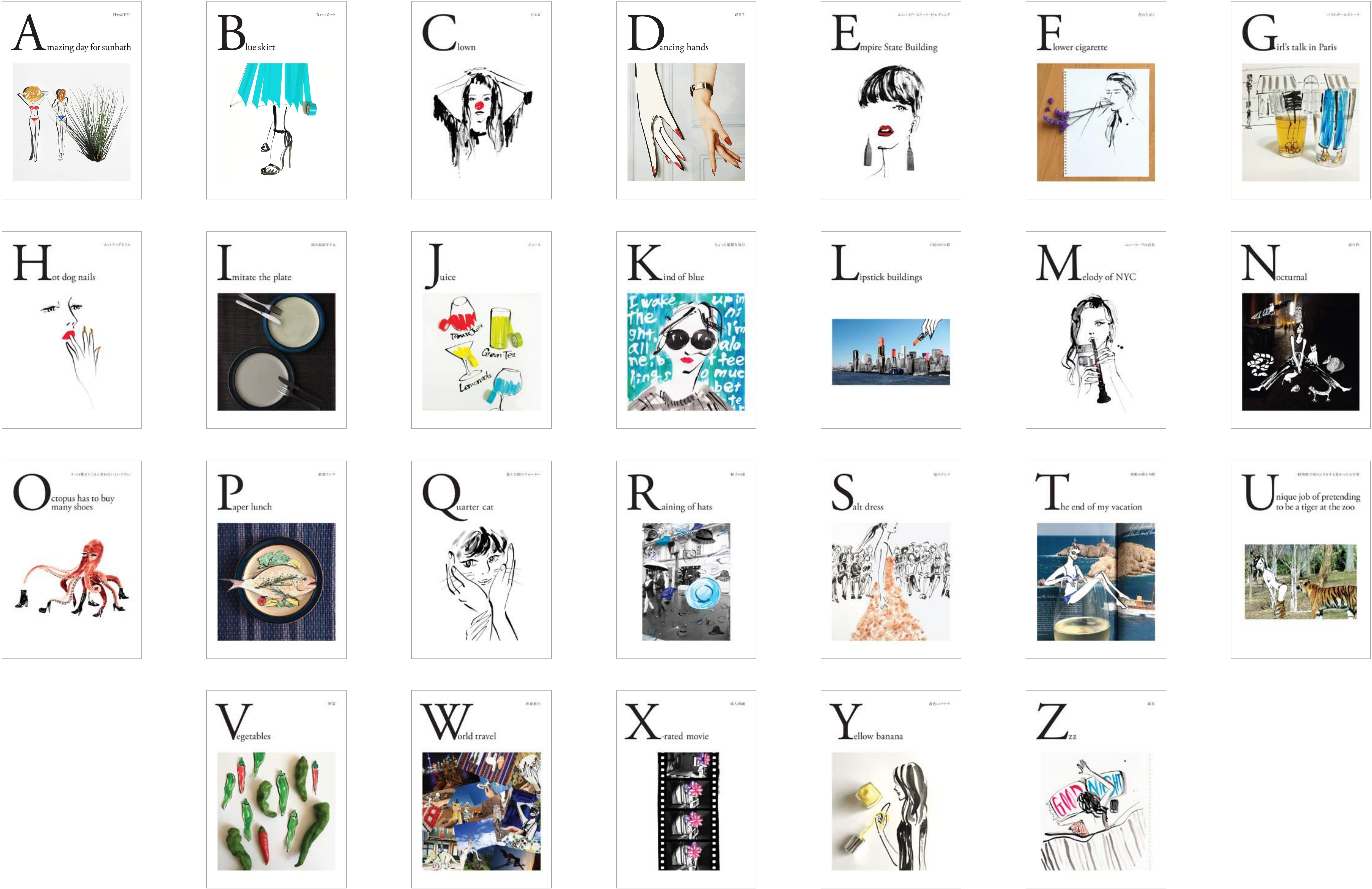


踊る手

D

ancing hands









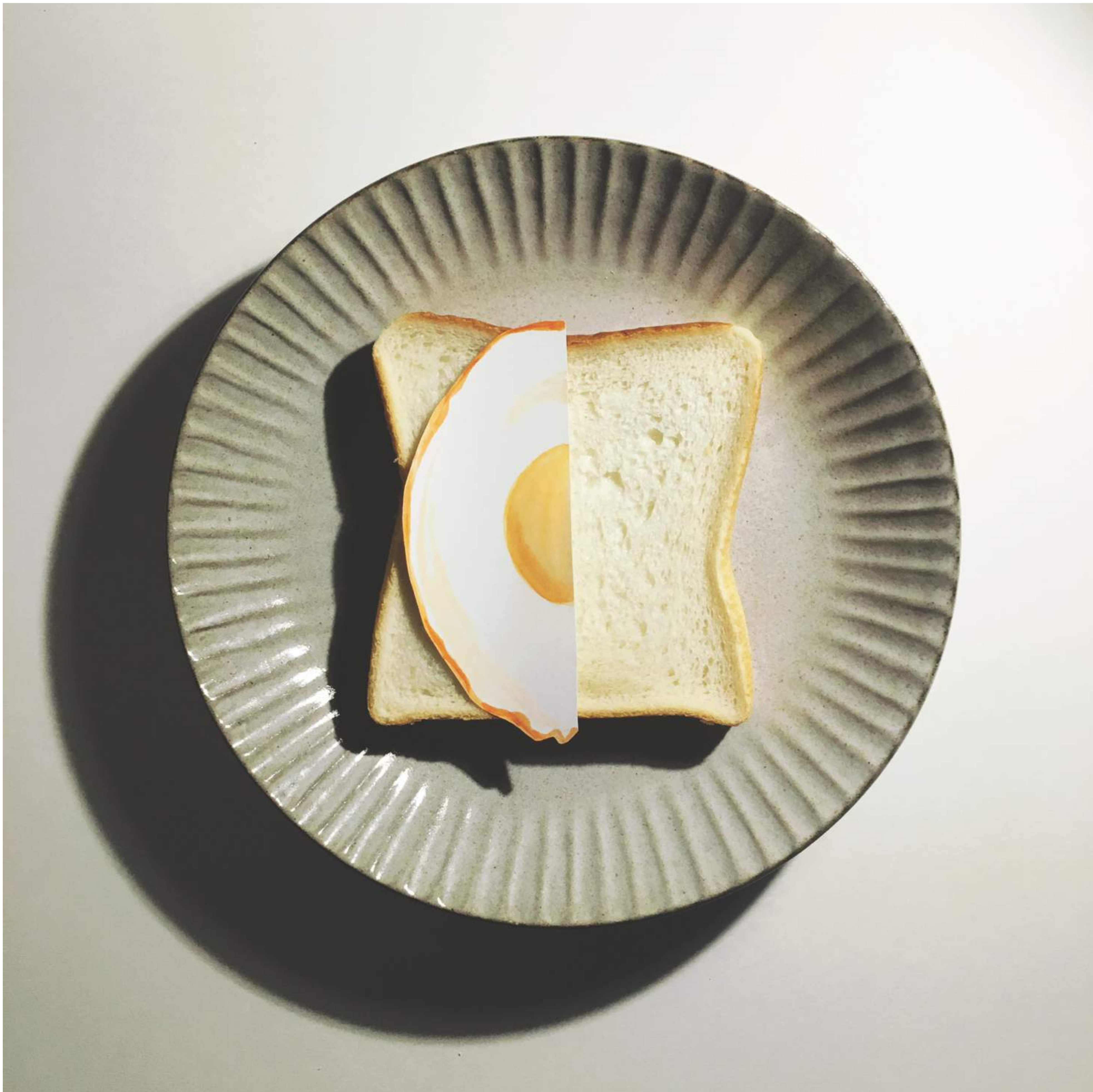


Keep warm

all set for tonight!



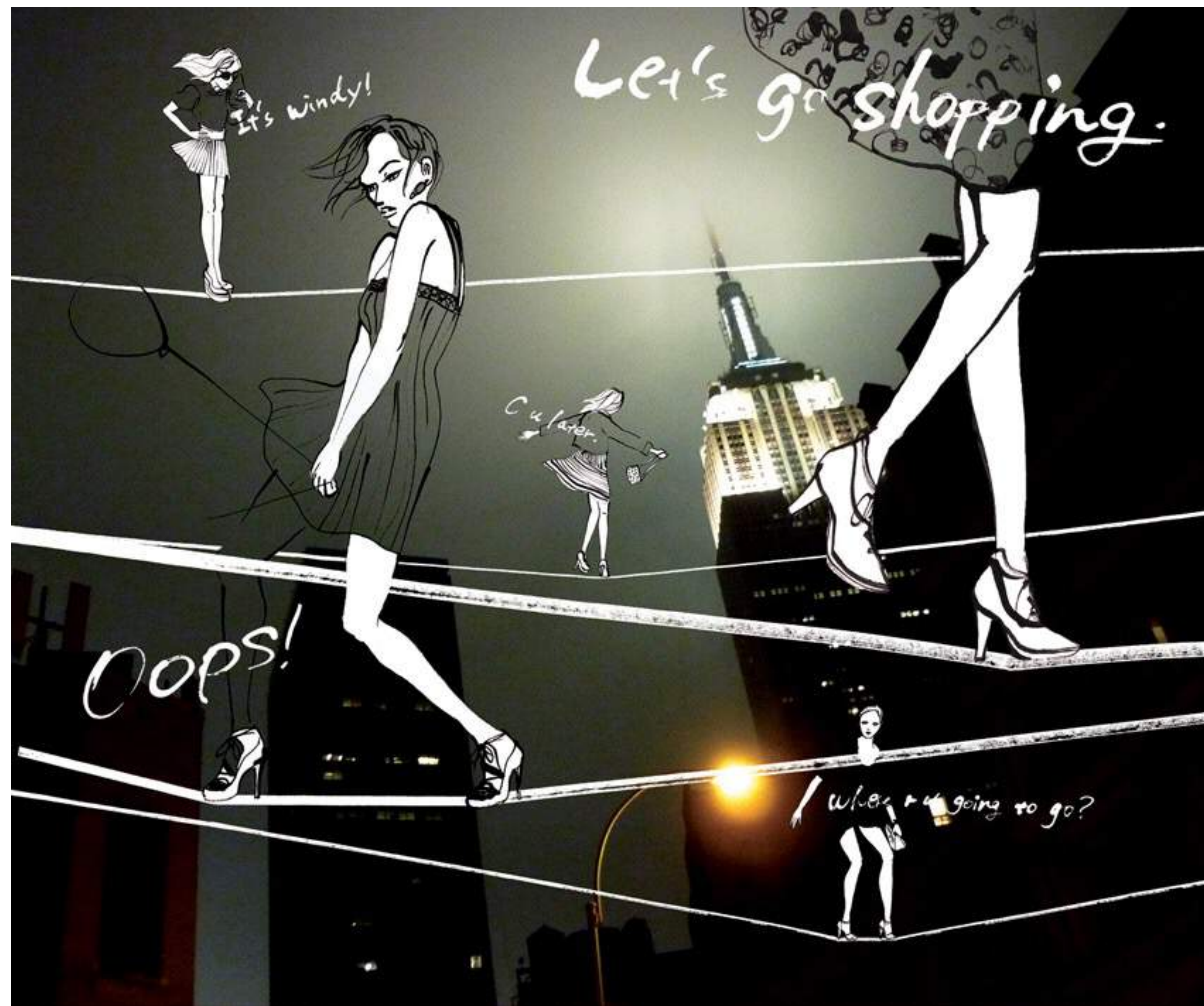
STAY warm















連絡先 info@visiontrack.jp

vision track

TOKYO | 150-0045 東京都渋谷区神泉町11-9 Wine Apartment201 | TEL & FAX 03-6455-4588

OSAKA | 550-0015 大阪市西区南堀江1-10-11 西谷ビル本館4F4-7 | TEL 06-6543-7007 FAX 06-6543-7017